

第15回 リバーフロント整備センター研究発表会

平成19年9月28日、科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）にて「第15回リバーフロント整備センター研究発表会」を開催しました。

この研究発表会は、当センターの水辺空間に関する調査研究の成果と最近の話題を紹介し、河川技術者の啓発の場とすることを目的としています。

今回は、当センター設立20周年と記念すべき年であり、第Ⅰ部を本研究発表会、第Ⅱ部を「リバーフロント整備センター設立20周年記念講演会」の二部構成で開催させて頂きました。

研究発表内容は、昨年度、当センターで実施した以下の研究成果9編の発表を行いました。

○研究発表の内容

1. 高規格堤防と市街地再開発事業との一体的整備に関するモデル検討
2. 沿川市街地の温暖化対策調査について
3. 内陸水運の活性化に係わる調査検討について
4. 海岸における漂着ゴミ対策方針について
5. 河川水辺の国勢調査結果からみた河川環境 - 1

- ・ 2・3 巡目調査結果の総括検討
 6. 伐採・抜根によるハリエンジュ駆除効果と今後の課題
 7. 千曲川栗佐地区の試験的河道掘削に関する研究
 8. 真駒内川における礫河床の復元に関する実験的研究について（中間報告）
 9. チスジノリがよみがえる川づくり（兵庫県安室川）
- なお、この研究発表会にあわせまして、「リバーフロント研究所報告 第18号 2007年9月」を発刊して



おります。また、既に発行している過去の報告につきましては、研究成果を全て検索できる当センターホームページ「リバーフロント研究所報告」が掲載されておりますので、是非ご活用下さい。

<http://www.rfc.or.jp/rp/index.asp>

リバーフロント整備センター設立20周年記念講演会

平成19年9月28日に科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）において「リバーフロント整備センター設立20周年記念講演会」を開催いたしました。この20周年記念講演会・鼎談には国土交通省、都道府県、大学等の研究者、民間コンサルタントの関係者、ならびに当センターOB・OG等、多くの方々にご参会いただき、当センター20周年を記念するにふさわしい会となりました。

丸岡企画部長による「リバーフロント整備センターの20年」では、センター設立当初から現在に至るまでの調査研究等の取り組みと主要な業務紹介により、20年間の活動と成長の履歴を会場の皆様に回顧・概観いただきました。

記念講演では（社）日本河川協会会長の近藤徹氏を迎え、「河川環境・回顧と展望」と題してご講演をいただきました。講演内容は現在の河川事業が抱えている問題の提起のみならず、今だから話せるセンター誕生の秘話など、大変貴重なお話をウイットに富んだ語り口で話され、会場から大きな拍手がわき起こりました。

「この20年をふりかえり、将来を語る」記念鼎談は、応用生態工学会会長の山岸哲氏、九州大学教授の島谷幸宏氏を迎え、当センター理事長の竹村公太郎が

司会役を努めました。鼎談ではセンターの成人式への祝辞をいただくと共に、この20年間の研究活動に対する評価、さらに今後のあり方について熱心な議論を交わしていただきました。また、会場からも島村元越谷市長、森下（社）淡水生物研究所所長、寺田前々理事長、青山水資源機構理事長、山畑元FRONT編集長等から多くの温かいお言葉をいただくことができ、当センター20年の歴史は多くの方々によって支えられていることを改めて認識することとなりました。

ご参会の皆様をはじめ今日まで当センターを支えていただいた皆様に今一度心より感謝申し上げます。（財）リバーフロント整備センターは今後も河川に係る諸問題への調査研究等を通じて社会へ貢献するべく、理事長以下一丸となり全力で取り組んで参る所存です。



理事長のあいさつ



鼎談の様子